

授業スタンダード実施強化月間に向けて

【目的】

- ①三中授業スタンダード実施の定着。
 - ②「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図り、授業の質を向上させる。
 - ③教員同士で授業を見合う機会を増やし、互いに授業改善を図ろうとする意欲を醸成する。
- ※授業スタンダード実施強化月間は、互いに授業の悩みを相談し合ったりする良いきっかけにもなり、最も身近な「研修」・OJTにもなります。

【具体的な取組内容】

- ・生徒対象に授業アンケートを取組前後に実施（取組前9月末、取組後11月頭）
 - ・授業実践及び他の先生の授業観察を行う（校務に無理のない範囲で）。
 - ・学校運営協議委員や教育委員会の方にも参観していただく機会を設ける。
 - ・学校運営協議委員や教育委員会の方からもご意見をいただく協議の場を設ける（参加者は管理職及び参加希望者）
- ※ある特定の先生の授業を参観して協議するというわけではなく、三中全体の授業の様子を参観し、協議する。略案の提出や協議への参加は任意。
- ・教科部会や職員会議で課題・改善策を共有する。
 - ・管理職からのフィードバックを行う。

授業スタンダードチェックリスト…チェックしてみましょう。

見通しがもてる授業づくりが行われているか？

①つかむ・つなげる（課題発見）

- 「ねらい」が提示されている 既習内容の確認をしている 見通しをもたせている
- 課題の発見をさせている

②じっくり考える（自力解決）

- 課題に向き合わせている 解決する方法を一人で考えさせている 予想（推測）させている
- 自分の考えをまとめさせている

③学び合う・話し合う（協働）

- 考えを伝え合わせている 自分の考えと比較させている 新たな課題（疑問）を発見させている

④じっくり考える（自己解決）

- 学習前との自分の考えと比較させている 新たな課題を発見させている
- 自己の考えを深めさせている

⑤まとめ・振り返りをする

- ねらいの達成度を振り返らせている（わかったこと・わからなかったことをまとめさせている）
- 新たな課題を発見させている

⑥家庭学習の充実につなげる

- 授業の振り返り（復習） → 調べ学習 → 新たな課題（疑問）発見

全体に関わって

- 図書館の利活用があるか デジタルの活用があるか 主体的・対話的で深い学びが実現されているか
- ※授業の反省や気付いたことなどを記録することの積み重ねも重要です。